

授業科目名	社会福祉の原理と政策	単位数	4単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
該当なし			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>この授業のテーマは、社会福祉発展の原理と福祉政策をめぐる多様な論点の理解である。そして、現代社会の特徴や社会福祉が取り組むべき課題を考えるために、社会問題と社会構造、福祉政策の理論・論点、社会福祉施策の概要についての知識を獲得し、社会福祉の原理と政策に対する社会福祉士としての自身の見解の形成につなげる。</p> <p>具体的には以下が学習の到達目標となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題と社会構造、社会福祉関連施策、福祉政策の国際動向を説明することができる。</li> <li>・福祉政策に関連する多様な思想を学び、それぞれの特徴を説明することができる。</li> <li>・社会環境に存在する福祉課題を発見し、それへの対処施策を構想することができる。</li> </ul>			
授業の概要			
社会福祉の歴史的展開や社会的背景を踏まえ、社会福祉の原理と福祉政策の枠組みを理解し、現在の福祉政策に向けられる批判や直面する課題について検討する。			
授業計画			
<p>第1回 社会福祉の原理</p> <p>第2回 現代における社会問題 (1) 貧困と格差、失業 現代における社会問題 (2) 社会的孤立、ヴァルネラビリティ</p> <p>第3回 現代における社会問題 (3) 偏見と差別、社会的排除、社会的包摂 社会問題の構造的背景 (1) 人口構造と世帯構造の変化、産業構造の変化</p> <p>第4回 社会問題の構造的背景 (2) 社会意識と価値観の多様化 社会問題の構造的背景 (3) グローバル時代の社会問題</p> <p>第5回 社会福祉の歴史 (1) 社会福祉の歴史を学ぶ視点 社会福祉の歴史 (2) 欧米の社会福祉の歴史的展開</p> <p>第6回 社会福祉の歴史 (3) 日本の社会福祉の歴史的展開</p> <p>第7回 社会福祉の思想・哲学・イデオロギー 社会福祉の理論 社会福祉の論点</p> <p>第8回 社会福祉の対象の史的変遷 福祉政策の基本的な視点</p> <p>第9回 福祉政策におけるニーズ 福祉政策における資源</p> <p>第10回 福祉政策の構成要素 福祉政策の過程と評価</p> <p>第11回 福祉政策の動向と課題 (1) 包括的支援の背景 福祉政策の動向と課題 (2) 包括的支援から重層的支援へ</p> <p>第12回 福祉政策と関連施策 (1) 保健医療政策・教育政策 福祉政策と関連施策 (2) 住宅政策、災害政策 福祉政策と関連施策 (3) 労働政策</p> <p>第13回 福祉サービスの供給と利用 (1) 供給部門、供給過程 福祉サービスの供給と利用 (2) 供給過程と利用過程</p> <p>第14回 福祉政策の国際比較 (1) 福祉政策の類型 福祉政策の国際比較 (2) 福祉政策の動向：欧米・アジア</p> <p>第15回 これからの社会福祉 社会福祉の到達点 ソーシャルワーカーと社会福祉・福祉政策</p>			
スクーリングでの学修			
テキスト			
<p>①一般社団法人日本ソーシャルワーカー教育学校連盟編集 (2021) 『最新社会福祉士・精神保健福祉士養成講座4：社会福祉の原理と政策』中央法規出版 ISBN:978-4805882344</p> <p>②厚生労働省『令和5年版 厚生労働白書』<a href="https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/22/dl/zentai.pdf">https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/22/dl/zentai.pdf</a></p>			
参考書・参考資料等			
<p>①菊池馨実 (2019) 『社会保障再考～(地域)で支える』岩波新書 岩波書店 ISBN:9784004317968</p> <p>②鶴幸一郎・藤田孝典ほか (2019) 『福祉は誰のために～ソーシャルワークの未来図』へるす出版新書 へるす出版 ISBN13:978-4892699832</p>			
学生に対する評価			
レポート評価 (50%)、科目修得試験 (50%)			